

# 令和5年度 学校評価

## ※添付資料

資料1 自己評価

資料2 生徒アンケート

資料3 保護者アンケート

南アルプス市立  
白根御勅使中学校

# 白根御勅使中学校関係者評価委員会 会則

## 〔名称及び事務局〕

第1条 この委員会は、「白根御勅使中学校関係者評価委員会」という。

第2条 この委員会の事務局は白根御勅使中学校内に置く。

## 〔組織〕

第3条 本委員会は、白根御勅使中学校に関わる地域の有識者の中から学校長が推薦し、南アルプス市教育委員会が委嘱する委員をもって構成する。ただし、本校の保護者を必ず含むものとする。

## 〔目的及び事業〕

第4条 本委員会は、学校の自主性・自立性に基づく教育活動の成果を検証し、学校運営の改善と発展を支援することを目的とする。

第5条 本委員会は、前条の目的を達成するために、年間において前期・後期各1回の委員会を開催する。ただし、必要と認める時には、学校長の招集により臨時に委員会を持つことができる。

第6条 本委員会は、各種の資料の検証や、学校の諸活動の観察等を基に、学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、次の観点で評価することを基本とする。

- ・自己評価の結果の内容についての検証
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策についての検証
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等の検証
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みの検証

## 〔役員〕

第7条 この会には、次の役員をおく。

委員長（1名）、副委員長（1名）、事務局（1名）

第8条 役員を選出は次による。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、本会を代表し、会議の座長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時にはその職務を代理する。
- 5 事務局は教頭があたり、庶務を司る。

## 〔守秘義務〕

第9条 本会の委員は、役職上知り得た秘密について守秘義務を負う。退会後も同様とする。

## 〔附則〕

この会則は、平成20年9月1日より施行する。

令和5年度

白根御勅使中学校関係者評価委員

秋 山 契 様

入 倉 浩 二 様

輿 石 大 輔 様

鈴 木 知 春 様

清 水 沙 織 様

**1** 学校評価の目的

- ① 各学校が、自らの教育活動その他学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

**2** 学校評価の方法

- ① 自己評価は、全職員による自己評価をもとに、生徒・保護者へのアンケート（生徒、保護者年1回）の結果を加えて行う。
- ② 自己評価は、年1回行う。
- ③ 自己評価の結果を踏まえて、学校関係者評価委員会による学校関係者評価を年1回行う。
- ④ 自己評価と学校関係者評価の結果を公表する。
- ⑤ 自己評価と学校関係者評価の結果をもとに、改善点を全職員で共有し、来年度以降の学校教育に活かしていく。

### 3 自己評価

#### I 自己評価の具体的方法

- ① 本年度の学校教育目標をふまえて、評価項目を決定する。
- ② 全職員が評価項目を4段階で評価する。
  - 4 ; あてはまる
  - 3 ; どちらかというにあてはまる
  - 2 ; どちらかというにあてはまらない
  - 1 ; あてはまらない
- ③ 全員の評価結果を集計し、項目ごとの平均値を算出する（小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁で数値化）。この平均値を次のカッティングポイントに照らして、判定する。

3. 0以上	.....	A (概ね良好である)
2. 9～2. 5	.....	B (工夫・改善の余地がある。)
.....		
2. 4～2. 1	.....	C (工夫・改善が必要である。)
2. 0以下	.....	D (根本的に工夫・改善を図る必要がある。)

- ④ 全生徒と全保護者に向けて行うアンケートは、職員の自己評価項目と関連させながら項目を決定し、職員の自己評価同様4段階の数値で評価する。アンケートの結果から項目ごとの平均値を算出し、職員の自己評価と同じカッティングポイントで判定（A～D）する。
- ⑤ 職員による自己評価をもとに、これに生徒・保護者へのアンケート結果を加えて評価書を作成する。
- ⑥ 令和5年度より、白根御勅使中学校・白根百田小学校・白根源小学校の3校が、白根御勅使中学区小中一貫校となったことを機に、評価項目に小中一貫校の評価項目を3校共通で入れ、評価していく。

## Ⅱ 自己評価結果

南アルプス市立白根御勅使中学校	令和5年12月28日(木)作成
学校長 今村洋仁	記載者氏名 教頭 大間俊男

### 1 本年度の学校教育目標

- (1) 校訓 「一生懸命」
- (2) 学校教育目標 「志を持ち 道を拓く生徒」
- (3) 目指す生徒像  
知を磨く生徒 心を耕す生徒 体を鍛える生徒 故郷を愛する生徒
- (4) 令和5年度指導重点
  - 「新しい時代に必要となる資質，能力」をはぐくむ教育課程の編成
  - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた確かな学力の育成
  - 様々な体験活動を通じた豊かな心の育成
  - 実践活動から鍛える，健やかな体の育成
  - 地域や世界で活躍できる人材の育成
  - 途切れのない特別支援教育の充実
  - 教育全体の土台となる学級経営の充実

### 2 職員自己評価(資料1)，生徒アンケート(資料2)，保護者アンケート(資料3)について

令和5年12月に，職員自己評価及び生徒アンケート，保護者アンケートを実施した。その質問項目と集計結果を，資料1～3に示した。

学校評価は，年1回の実施である。学校の様子が保護者にも十分伝わった12月にアンケートを取り，その後及び翌年度の教育活動に生かしていく。保護者アンケートの項目は生徒アンケートとできるだけ内容を一致させるようにしている。

今年度は5月に新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し，学校行事やPTA行事が通常開催できるようになってきた。それに伴い保護者が学校の様子を見る機会も多くなった。

このような状況の中で，保護者アンケート(Googleフォームアンケート機能を利用)の回答率は83%と高い回収率になっている。それだけ保護者の学校への協力意識が高く，連携，協同していく姿勢の表れであると考え。今後も家庭と学校の連携をさらに推進していきたい。

尚，職員自己評価及び生徒・保護者アンケートともに，昨年度同様，記名式とした。

### 3 評価の考察と改善策

#### (1) 全体的な評価

職員自己評価は、昨年度と同様の質問に小中一貫教育に関する質問を付け加えて行い、各教育活動実践の評価を行った。

自己評価に関しては全28項目（比較対象は25項目）中27項目がA判定であった。B判定は「あいさつ」に関する項目であった。

上昇した項目は12項目あった。特に「V生徒指導」の項目では全ての項目でポイントの上昇が見られた。「IV学習指導」では、6項目中4項目でポイントの上昇が見られた。「あなたは、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指した指導に努めている」「あなたは、豊かな心の育成を意識して道徳教育及び評価を行っている」「本校は、生徒の個性を尊重しながら、生き方を考えさせる教育活動（進路指導やキャリア教育等）を行っている」の項目では0.2ポイントの上昇が見られた。

下降した項目は10項目あったが、下降幅は0.1～0.3ポイントでほぼ同程度であった。

通常通りの教育活動を3年ぶりに行う中で、教職員が生徒指導と学習指導を中心に重点を置き教育活動が行われたことが伺える。現在、教職員の働き方を見直す中、生徒ファーストの気持ちで創意工夫しながら、職務遂行に努めていることが見てとれる。

また、B評価となった項目が一つある。「生徒は、学校や地域で進んであいさつをしている」である。学校では、生徒会のあいさつ運動をはじめ、朝の教員の玄関での声かけ、小中合同あいさつ運動などに取り組んでいる。取り組みを行っているときはできていてもなかなか習慣化するまでに至っていないのが現状である。根気強く行いながら、創意工夫をしていきたい。

全28項目中、A評価が27項目である。今後も、学習指導要領の実現やGIGAスクール構想の推進など多くの教育課題に向けて、一人ひとりの教職員が高い意識を持ち、白根御勅使中学校としての組織力、協働力をしっかりと構築し、共通理解のもと教育活動に取り組んでいく必要がある。

生徒アンケートに関しては全19項目中18項目がA判定であった。B判定は「家庭学習の習慣化」の項目であった。

上昇した項目はなく、同等が3項目、下降が15項目となっている。下降幅は、0.1～0.2ポイントでほぼ同程度であった。下降ポイントが0.2ポイントの項目は、「私は、授業に真面目に取り組んでいる。」「私は、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっている。」「先生は、自分の良さや頑張ったことを認めてくれる。」「先生は、心配ごとなどの相談にのってくれる。」の4項目であった。

今年度、学習の場では、話し合い活動や家庭科の調理実習などが通常通りできるようになった。また、学園祭や強歩大会、合唱祭などの学校行事も通常開催で行い保護者の参観制限もなく行うことができた。一方、通常通りと言っても、今の生徒は通常を知らず、一つ一つの取組を行うことは、指導していく教師にとっても、指導される生徒にとっても、大きな負担となっていた。まずは、通常を1年間しっかり行うことで、当たり前の活動につなげていきたい。

学年ごとの評価を見てみると、3.0に届かない項目も見られる。「家庭学習が習慣になっている」では、1年生2.8ポイント、2年生2.7ポイントであるが、3年生になると3.1ポイントと1.2年に比べると0.3ポイント上昇する。本校では、家庭での自主学に全学年で取り組んでいる。自主学は、学習の予習や復習、疑問点への解決や弱点克服への取組としても行うことができる。また、教職員は、校内研究会の中で取り組み状況について情報交換を行い、共有化も図っている。長い期間の取組の成果が、学年を上がるにつれて出てくることを期待する。

同様に、1.2年生、「卒業後の進路や将来の仕事を考える」は1.2年生のポイントが3.0に届いていないが、3年生になると3.3ポイントとなった。この項目については、保護者アンケートでも同様なことがわかる。今後はキャリア教育や職場体験、進路学習などをより一層充実させ、1学年から3年間を見通して計画的に行っていく必要がある。

保護者アンケートに関しては全20項目中17項目がA判定であった。B判定は3項目あり、「お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいますか。」「お子さんは、授業の内容がわかっていますか。」「お子さんは、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっていますか。」であった。

上昇した項目はなく、同等が16項目、下降が4項目となっている。下降ポイントは、0.1～0.2ポイントでほぼ同程度である。下降ポイントが0.2ポイントである項目は、「お子さんは、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっていますか。」であった。

保護者の課題意識は、主に学習面にあると考える。「一人一台端末の活用」や「主体的対話的で深い学び」「協働的な学び」など学校現場でいくつもの教育用語が出てくる中、保護者に実際の授業や行事での生徒たちの学びの姿を見ていただき、学校と保護者が同じ方向を見ていく必要があると感じる。今後も、保護者参観ができる場を提供し本校の学習指導を理解していただき、社会に開かれた学校づくりに努めていきたい。

本校では、本年度より一人一台端末の持ち帰りを実施している。家庭で教科の課題やドリルアプリに取り組むことで、生徒個々の実態に合わせた学力の定着を行っている。今後も、計画的に活用して、学習意欲・学力の定着・学習習慣を図っていきたい。

また、「お子さんは、仲間を大切にし、いじめや仲間はずれをしないですか。」「お子さんには、良いところがあると思いますか。」の項については、昨年度と同様に3.7ポイント以上と高いポイントになっている。保護者の意識として、友人関係や対人関係と共に、豊かな心の成長を願っていることがわかる。今後学校としても、道徳教育を中心に行っていきたい。

以上の結果については、全教職員で共通理解し具体的に改善に努め、今後の白根御勅使中学校の教育水準の向上に生かしていきたい。

(2) 各項目の評価と改善策

評価項目Ⅰ「小中一貫教育」に関して
<p><b>【自己評価】</b></p> <p>3項目ともA判定の高い評価であった。この項目は、本年度白根百田小学校と白根源小学校、白根御勅使中学校の3校が、小中一貫校としてスタートしたことで設けた項目である。全ての項目がA評価になった理由の一つに、一昨年、昨年と取り組みを行ってきたからだと考える。これまでの期間で教職員の教育活動の積み重ねによって、スムーズに小中一貫が行われたことを示していると考ええる。</p>
<p><b>【改善策】</b></p> <p>No2「あなたは、小中の児童生徒の交流や教職員の交流を積極的に行っていますか。」について、意見の中にどのくらいの意識で行うかに戸惑っている教職員がいることがわかる。小中一貫のメリットは、9年間を見据えた教育活動ができる点である。一方デメリットは、各学校、学年、学級の実態や教師の指導方針とズレが生じる場所である。義務教育の入り口の小学校と出口の中学校では、今後も意識に違いが出てくることも想定できる。</p> <p>改善策としては、教師が小中一貫の取組の中で、9年間を意識することが大切である。そして、細かいところは、目の前の子どもの実態に合わせて指導していくのが良いと考える。また、それぞれの小中一貫の担当者は、これらの意見等を含めて見直しをしながら取り組みを積み重ねていき、より良い取り組みを行っていくことが大切である。</p> <p>今後は、取組の成果なども含め、共通理解をさらに図り、より良い教育活動へとしていきたい。</p>

評価項目Ⅱ「学校教育目標」に関して
<p><b>【自己評価】</b></p> <p>2項目すべてがA判定であり、昨年度より下がっているが、2項目とも3.5以上のポイントと高い。学校教育目標「志を持ち 道を拓く生徒」の育成に向け、全教職員が意識高く日々教育活動を行っていることがこれからわかる。</p>
<p><b>【改善策】</b></p> <p>最近の教育用語の中に教育DX（デジタルトランスフォーメーション・先端技術を活用し、教育現場の効率化や教育効果の最大化を図る概念）という言葉がある。一人一台端末の活用、「主体的対話的で深い学び」など今教育活動は様々な変化を求められている。一方、本校の学校教育目標は10年以上変わっていない。</p> <p>「不易と流行」という言葉があるように、私たちが行っている教育活動は、根本的に「人間形成」を行っていくことが目的である。一人一台端末などはあくまでも手段（道具）である。</p> <p>今後も校内研修などを大切にして自らを研鑽し、授業や学校行事で実践する「チーム御勅使中教職員」として全職員で取り組んでいきたい。これにより「目指す生徒像」につなげ、生徒の育成に努めていきたい。</p>

評価項目Ⅲ 「学校経営・学校運営」に関して

【自己評価】

6項目すべてがA判定であり、4項目で昨年度より上昇が見られた。またすべての項目で3.5ポイント以上と高くなっている。教職員が積極的に学校経営・運営に関わっていることがわかる。

【改善策】

学校経営・学校運営を行っていくためには、校務分掌で教職員一人ひとりが役割を担って取り組んでいく必要がある。今年度も教職員一人ひとりが、役割を意識し責任を持ち、職務を遂行していたといえる。また管理職に報告・連絡・相談を行い、より良い方向性を見出したり、組織力で仕事を行ったりすることは、支えになり自信にもつながる。

今回、生徒アンケート「私は、学校が楽しいと思う」、保護者アンケート「お子さんは、学校生活を楽しんでいますか」が、ともにA判定になっている。このことから、本校の教育活動が生徒・保護者にも良い成果として表れていると考える。

今後も、個人と組織力で教育活動の推進を図り、よりよい学校経営・学校運営に努めていきたい。

評価項目Ⅳ 「学習指導」に関して

【自己評価】

6項目すべてがA判定である。昨年度と比べると4項目でポイントが上昇している。どの先生方も高い意識をもって学習指導を行っていることがわかる。

一方、「あなたは、評価計画に基づいて評価し、その評価結果を指導に生かしている。」「あなたは、生徒の学習習慣が確立するよう努めている。」の2項目でポイントが下がっている。評価については、一人一台端末の活用やグループ学習などの時間が取りやすくなった半面、個々の評価については難しさもある。今後、指導改善を意識した取り組みも含めて、取り組んでいきたい。また、学習習慣については、生徒アンケートを見ると「私は、家庭学習が習慣になっている。」が昨年度より下がっている。一方、保護者アンケートでは、「お子さんは、授業の内容が分かっていますか」の評価項目が、昨年度と同様B評価となっている。

【改善策】

本校では「やまなしスタンダード」を意識した授業づくりや話し合い活動などに継続して取り組んでいる。また、校内研究会に大学教授を招聘し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研究を進めてきており、質の高い探求課題に小集団で取り組む授業の形態を研究している。さらに、ICTを活用した授業にも取り組んできている。さらに、一人一台端末の持ち帰りで週末課題やドリルアプリを行ったり、病気やけがで学校に来られない生徒にはリモート授業を行ったりして「学びの保障」を行っている。今後も、目指す生徒像にある「知を磨く生徒」の育成に努めていきたい。また、家庭と連携して家庭学習の習慣化につなげることを今後も行っていきたい。家庭と学校の環境が同じになってくることで相乗効果も期待できる。学校での取り組みを家庭に知ってもらい、理解と協力を得ながら家庭学習の習慣化につなげていきたい。

評価項目V 「生徒指導」に関して

【自己評価】

今年度も、大きな問題行動はなく、生徒の多くは規律を守って学校生活を送っている様子が見られた。

5項目すべてがA評価であった。昨年度と比べるとすべての項目でポイントが上がっている。他の評価項目と比べると数値が高かったりしており、教職員の高い意識を感じる。意見を見ると、生徒へのきめ細やかな対応が教職員の心の負担になっていることもわかる。

同様に、生徒アンケートにおいても、「私は、命の大切さを理解し、交通ルールを守っている。」「仲間を大切にし、いじめや仲間外れをしない。」の項目については昨年度同様に数値が高いことから、生徒の意識も高いことが伺える。保護者も同様のことが言える。

【改善策】

落ち着いた学校生活を送っている生徒が多い中、様々な悩みや問題を抱えている生徒も実際にはいる。集団の質の向上が個の生徒指導を良い方向に導いていると考える。

昨年度同様、本校では学年を中心に生徒指導を行っている。横のつながりを強くし、学年の教職員が同じ歩調で指導することは、生徒の安心へとつながっている。個の生徒指導として本校には、年間を通してスクールカウンセラーが、不登校傾向や様々な悩みを抱えている生徒や保護者が教育相談を受けている。他にも市こども家庭相談課等、外部機関と連携し、安心して学校生活を送れる環境をつくってきた。スピードを必要とする場面に対しては、教職員間で連携しチームとして動くことができた。

また本校では、週1回行う生徒支援委員会で縦のつながりを作っている。各学年での生徒指導の情報共有や指導の共通理解、指導方針について話し合っている。専門的な意見を取り入れながら、個と集団の指導について機能することができている。

一方、困難さがある生徒指導については、日々の対応に教職員の心の負担が増している傾向がある。組織的に取り組んで、一人の教職員だけに負担が行かないようにしていきたい。

今後も、集団の質を向上させていくのと同時に、個の問題についても全教師で取り組んでいく。

評価項目VI 「家庭・地域との連携」に関して

【自己評価】

3項目とも昨年度の評価より同等か下がっている。しかし、どの項目も3.5と高い評価である。

保護者アンケートを見ると「お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいますか。」「お子さんは、授業の内容がわかっていますか。」「お子さんは、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっていますか。」の3項目が0.1, 0.2ポイントほど3.0にはならずB評価となっている。学校との連携の一つの課題として学習面が挙げられる。一方、学校行事、教育活動の通常開催により、保護者が学校に来る機会を多く作ることができた。このことにより、学校の様子を理解してもらう中で、学校に対する好意的な意見が多いことが伺える。また、意見の中には教職員の指導に対して理解が

難しい場面があったことがわかる。

**【改善策】**

中学校生活が終わるということは、言い換えれば義務教育が終了するということである。そのため、学習面の課題は、学校だけでなく家庭にとっても大きな課題となり、関心ごとの一つになっていることがわかる。「子どもに幸せになってほしい」という共通の願いに対して、家庭との連携を図っていくための支援を今後も続けていく必要がある。生徒アンケートでも、授業（学習）の大切さはわかっているが、家庭学習の定着がなかなかできていないという結果が見られる。先を見通した生活を意識させていく必要がある。また、意見の中には学校の指導に対して理解が難しい場があったことがわかる。保護者も指導内容については一定の理解を示してくれているが、私たち教職員も、生徒・保護者の気持ちになることを第一にし、お互いに納得していける指導に努めていきたい。

VII 「学校の特色」 に関して

**【自己評価】**

3項目中、2項目がA評価、1項目がB評価であった。また昨年度に比べ、3項目ともポイントが下がっている。「生徒は、学校や地域で進んであいさつをしている。」では、昨年度と比べ0.3ポイント下がり、B評価であった。また、意見でも「あいさつは本校の課題」と本年度だけではない様子が伺える。「生徒は、部活動や学校行事等様々な活動に積極的に参加している。」では、自治的（自主）活動や多忙化・働き方改革などについて課題を感じている意見があった。

**【改善策】**

本校では、「朝読書」「あいさつ」「部活動や学校行事」を学校の特色として挙げている。今後は、それぞれの課題に対して、次のように取り組んでいきたい。

「朝読書」については、今後も全教職員で読書活動の推進にあたっていきたい。現在も、読書だけではなく「ミダイの一行大賞（心に残った本の一行を選び、その理由を伝える活動）」「一斉読書（学年ごと同じ本の一部分を読み、感想を伝え合う活動）」など活動を深める活動も行っている。今後も、価値ある活動になるよう努めていきたい。

「あいさつ」については、意識化することに重点を置いて活動している。あいさつ運動も、教員による登下校の声掛け・掲示物、生徒会の取組、小中合同あいさつ運動など行ってきた。今後も根気強く行い行動につなげていきたい。

「部活動」や「学校行事」については、自治的（自主）活動が成り立つように、生徒に経験を積み重ねていきたい。また、多忙化・働き方改革の取組については、生徒と教師がどちらもよりよい生活につながるものでなければならない。例えば本校では、本年度部活動の朝の練習を基本的になくした。理由は、生徒が朝ごはんや身支度をしっかり行い、健康的に1日を送るための準備時間を確保するため、そして教師は1日の業務を行うための準備時間としました。今まで慌ただしかった朝の時間の使い方を変えることで、より良い学校生活が送れることを期待している。今後も生徒・教職員等により良い学校生活になるよう多忙化・働き方改革を進めていきたい。

## 4 学校関係者評価

### I 学校関係者評価委員会

実施日：令和6年1月19日（金）午後7時

会 場：白根御勅使中学校会議室

出席者：学校関係者評価委員・・・秋山 契（委員長） 入倉浩二（副委員長）

奥石大輔 清水沙織 鈴木知春

学校職員・・・・・・・・・・今村洋仁（校長）大間俊男（教頭）堀内美紀（教務主任）

#### 1 学校側から提案された内容

- (1) 学校評価の目的について
- (2) 学校評価の方法について
- (3) 自己評価及び生徒アンケート、保護者アンケートの結果について

#### 2 協議された主な内容

- (1) 自己評価結果についての全体評価
- (2) 自己評価結果から課題となる項目について
- (3) 生徒アンケート及び保護者アンケートの結果と課題となる項目について
- (4) その他

### II 令和5年度 南アルプス市立白根御勅使中学校 学校関係者評価書

平成6年1月19日（金）

学校関係者評価委員作成

最初に学校側より学校評価についての概略説明があった。まず自己評価に関しては全28項目（比較対象は25項目）中27項目がA判定でありB判定は「あいさつ」に関する項目だったこと、通常通りの教育活動を3年ぶりに行う中で教職員が生徒指導と学習指導を中心に重点を置き教育活動が行っていること、現在教職員の働き方を見直す中学生徒ファーストの気持ちで創意工夫しながら職務遂行に努めていることの説明があった。また生徒アンケートに関しては全19項目中18項目がA判定であったこと、B判定は「家庭学習の習慣化」の項目であったこと、話し合い活動や家庭科の調理実習など学習面が通常通りできるようになったこと、学校行事も通常開催で行えていることの説明があった。しかし、通常通りと言っても、今の生徒は通常を知らず、一つ一つの取組を行うことは、指導していく教師にとっても、指導される生徒にとっても、大きな負担となっているので、まずは通常を1年間しっかり行うことで、当たり前前の活動につなげていきたいとの話があった。最後に保護者アンケートに関しては全20項目中17項目がA判定であった。B判定は3項目あり、学習意欲、授業理解、家庭学習の定着であった。本年度より一人一台端末の持ち帰りを実施しており家庭で教科の課題やドリルアプリに取り組むことで、生徒個々の実態に合わせた学力の定着を行っており、今後も計画的に活用して、学習意欲・学力の定着・学習習慣を図っていききたいとの説明を受けた。

次に話し合いを行った。まず「あいさつ」についての話があった。委員からは、「家の前が通学路。小学生や中2の生徒が朝、必ず元気にあいさつをしてくれる。子どものあいさつの定着には、地域のみなさんが見本を見せていくことが大切。地域の自治会に中学校で行っている取組などを紹介して、地域との連携を図るのはどうか。」「子どもが言うには自分の住んでいる地区では大人もあいさつをすると返してくれるが、別地区の方はあいさつが返って来ないのが残念と言っていた。私の実家の父が子どもにあいさつをしたら、変な風にとられて警察に通報されたことがあった。大人の方からあいさつをしづらい状況も実際ある。」「子どもの方からあいさつをしてくれると返しやすい。こちらからあいさつをするのは少ししづらい。地域の8割の子は、向こうからあいさつをしてくれる。」「朝、犬の散歩に行くと、よくあいさつをしてくれる。夕方は、畑仕事をしている人に大きい声であいさつをしている姿をよく見る。大きな声であいさつをしてくれて、大変気持がよい。私の地区の子供たちはよくしている感じがする。」との話があった。この話を受けて学校側からは、「生徒アンケートの中に、御勅使中のよいところは「あいさつ」、直したいところにも「あいさつ」と言う意見が出ている。生徒同士でもあいさつについて意識が高い様子が見られる。」と伝え、委員からも「あいさつは自主的なものなので、子どもに「あいさつしていない」と言っはいけない。強制ではなく、自然にできるようにしていきたい。」「以前、他県に住んでいたが、その県の子どもは全然あいさつをしない。こちらの子は本当にあいさつを良くする。」「同じ会社の他県出身の人も、山梨の子はよくあいさつをすと言っている。横断歩道で止まると、必ず振り返ってお礼を言ってくれる。」とあいさつの指導について意見をいただいた。「高校生のあいさつはどうか。」「その子によって習慣化している生徒もいる。また知っている人にはしていると思う。」「残念ながら、良かれと思って声をかけると、不審者と思われてしまうようなこともある。」と地域の様子についても意見をいただいた。

次に委員から「すべてのアンケートから、本校にはいじめがないと出ているので、本当にいじめがないといえる。そのことが素晴らしい。」「昔はひどい時期もあった。」「校舎がきれいという環境もその要因ではないか。」と学校の環境が生徒の育成に一役を担っているとの意見もいただいた。学校側からは「校舎は6年目になるが、とてもきれいな状況が保たれている。生徒たちもその環境を保つような生活ができている。」と学校の取組について話があった。

また、委員より「教師の評価の中に、「子どもたちが力を発揮する行事や部活を削減しようとする流れがある」という意見が出ている。無くなっている部活動があるのはさみしいと感じる。」との意見をいただいた。「ここ数年、人数が少ない部活動もあり、部活数を増やせば、さらに活動が難しい状況になってくる。教師の働き方改革は生徒にとっても教師にとってもよりよい取組でなければならない。この意見は、教師もバランスを考えていかなければならないという意見だと思う。来年度の新入生は、少し増えるがその後は減ってしまう。」と学校の実情を説明した。委員からは「子どもたちのニーズに全て答えるのは、難しい状況だと思う。」と理解を示す意見があった。また学校より「人数を必要とする部活は厳しい状況。今ある部を支えていきたい。人数は少ないが、子どもたちがよく頑張っていて成果をあげている。文化的な活動や吹奏楽部も成果をあげている。今後も子どもたちのやりたいことが最大限できるようにやっていきたい。」と話をした。

次に校則についての話があった。「いくつか時代に合わないといった意見があるようだが、どういった決め方をしているのか。校則を変えるのは、どういう手続きが必要なのか。例えば、防寒着についてはどうなのか。」と委員から質問を受けた。学校側からは「校則をどう作っていくか、変えていくかについて

は、生徒側からと学校側から、両方ある。例えば、スマホの使い方については数年前から生徒からの意見をもとに作っている。防寒着、靴等については時代とともに変わっていくものなので、時代に対応した形で学校から提案することが多い。」と伝えた。一方「1年生のとき、9月とても寒い日があり子どもが防寒着を着て行ったところ、先生に防寒着の期間ではないので着てきてはいけないと言われた。その先生は防寒着を着ていたので子どもが理由を聞いたところ、納得がいかない言い方をされたらしい。その先生の対応はいかがなものか。」と質問を受けた。「衣替えについては移行期間を長めに設定しているが、上に着るだけでなく、まずは中に着るもので調節しようという指導をしている、といったことを教師が説明しなければいけなかった。」と学校側から指導について改めることを伝えた。これを受け「大人が子どもに向き合って、しっかり説明することが必要だと思う。」と委員から意見をいただいた。同様に、「先生の「子どもに対する指導」に対して、他の先生方からの指導はあるのか。」と委員から、保護者は誰に伝えていけばよいかの質問があった。学校側からは「何か気になることがあれば、すぐに管理職に伝えてほしい。」と話があった。委員の中からも「学校は受け入れてくれるので、管理職に相談するとよい。」とアドバイスがあった。

まとめとして、御勅使中がよくなっている感じがする。学校評価のまとめを読むと、学校を良くしようとする姿勢が学校長を中心に全職員から感じる。学校長からも、PTAの役員の方々と話す機会が大変貴重である、校則については説明の付かない校則はいらないと考えている、子どもが快適に生活できることが一番大切であると話があった。

今後もぜひ白根御勅使中学校の全職員で努力を続けてほしい。

記載責任者

南アルプス市立白根御勅使中学校 学校関係者評価委員会委員長

秋 山 契 印

# 【資料1-1】

## 令和5年度 自己評価集計結果

令和5年12月 白根御勅使中学校

4:あてはまる 3:どちらかというあてはまる 2:どちらかというあてはまらない 1:あてはまらない

項目	No	評価項目	合計人数				平均	判定
			4	3	2	1		
I 小中一貫教育	1	あなたは、小中一貫教育学校教育目標「ふるさとを愛し、生きる力を備えた児童生徒の育成」を意識し、その実現に努めていますか。	9	11	1	0	3.4	A
	2	あなたは、小中の児童生徒の交流や教職員の交流を積極的に行っていますか。	6	14	1	0	3.2	A
	3	あなたは、小中一貫で取り組んでいる「御勅使スタンダード」を自ら行う児童生徒の育成に努めていますか。	9	11	2	0	3.3	A
II 学校教育目標	4	学校教育目標は、生徒・地域の実態に即したものになっている。	18	4	0	0	3.8	A
	5	あなたは、学校教育目標を意識し、その実現に努めている。	11	10	1	0	3.5	A
III 学校経営・運営	6	あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて教育活動にあたっている。	14	6	1	0	3.6	A
	7	あなたは、校務分掌を中心に学校運営の参画に努めている。	15	5	2	0	3.6	A
	8	あなたは、職務上「報告・連絡・相談・確認」を常に意識し、行っている。	16	6	0	0	3.7	A
	9	あなたは、危機管理に努めている。	13	9	0	0	3.6	A
	10	あなたは、校舎内外の環境整備を適切に行っている。	12	9	1	0	3.5	A
	11	あなたは、教育公務員として自覚をもって仕事をしている。	17	5	0	0	3.8	A
IV 学習指導	12	あなたは、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指した指導に努めている。	14	3	0	0	3.8	A
	13	あなたは、主体的・対話的で深い学びによる、思考力・判断力・表現力の向上に努めている。（校内研究のテーマ）	10	6	1	0	3.5	A
	14	あなたは、評価計画に基づいて評価し、その評価結果を指導に生かしている。	5	11	1	0	3.2	A
	15	あなたは、豊かな心の育成を意識して道徳教育及び評価を行っている。	6	7	1	0	3.4	A
	16	あなたは、生徒の学習習慣が確立するよう努めている。	7	8	2	0	3.3	A
	17	本校は、生徒の個性を尊重しながら、生き方を考えさせる教育活動（進路指導やキャリア教育等）を行っている。	11	5	1	0	3.6	A
V 生徒指導	18	あなたは、生徒理解のために生徒とのコミュニケーションに努め、誠意をもって接している。	18	3	0	0	3.9	A
	19	あなたは、生徒の努力や良い点を認め、励ますようにしている。	17	4	0	0	3.8	A
	20	あなたは、生徒理解・生徒指導・特別支援等の観点に立ち、個に応じた指導に努めている。	12	8	0	0	3.6	A
	21	あなたは、いじめや問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に努めている。	15	4	1	0	3.7	A
	22	あなたは、適切な部活動指導に努めている。	9	6	1	0	3.5	A
VI 家庭・連携・地域	23	本校は、学校や学級等の様子などを、各種たよりやホームページなどを通じてわかりやすく伝えている。	12	8	0	0	3.6	A
	24	あなたは（本校は）、保護者や地域との連携・協力を努めている。	11	9	1	0	3.5	A
	25	あなたは、信頼される学校になるよう努めている。	15	6	1	0	3.6	A
VII 学校の特色	26	朝読書は、生徒にとって良い成果を上げている。	11	11	0	0	3.5	A
	27	生徒は、学校や地域で進んであいさつをしている。	4	12	6	0	2.9	B
	28	生徒は、部活動や学校行事等様々な活動に積極的に参加している。	10	11	1	0	3.4	A

## 【資料1-2】

### 令和5年度 自己評価集計比較 令和5年12月 白根御勅使中学校

4:あてはまる 3:どちらかというあてはまる 2:どちらかというあてはまらない 1:あてはまらない

項目	No	評価項目	R5年度		R4年度後期		比較	
			平均	判定	平均	判定	アップ ダウン	差
I 小中一貫 教育	1	あなたは、小中一貫教育学校教育目標「ふるさとを愛し、生きる力を備えた児童生徒の育成」を意識し、その実現に努めていますか。	3.4	A				
	2	あなたは、小中の児童生徒の交流や教職員の交流を積極的に行っていますか。	3.2	A				
	3	あなたは、小中一貫で取り組んでいる「御勅使スタンダード」を自ら行う児童生徒の育成に努めていますか。	3.3	A				
II 学校教育 目標	4	学校教育目標は、生徒・地域の実態に即したものになっている。	3.8	A	3.9	A	↓	-0.1
	5	あなたは、学校教育目標を意識し、その実現に努めている。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
III 学校経営・ 運営	6	あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて教育活動にあたっている。	3.6	A	3.7	A	↓	-0.1
	7	あなたは、校務分掌を中心に学校運営の参画に努めている。	3.6	A	3.6	A	-	0.0
	8	あなたは、職務上「報告・連絡・相談・確認」を常に意識し、行っている。	3.7	A	3.7	A	-	0.0
	9	あなたは、危機管理に努めている。	3.6	A	3.5	A	↑	0.1
	10	あなたは、校舎内外の環境整備を適切に行っている。	3.5	A	3.4	A	↑	0.1
IV 学習指導	11	あなたは、教育公務員として自覚をもって仕事をしている。	3.8	A	3.7	A	↑	0.1
	12	あなたは、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指した指導に努めている。	3.8	A	3.6	A	↑	0.2
	13	あなたは、主体的・対話的で深い学びによる、思考力・判断力・表現力の向上に努めている。（校内研究のテーマ）	3.5	A	3.4	A	↑	0.1
	14	あなたは、評価計画に基づいて評価し、その評価結果を指導に生かしている。	3.2	A	3.3	A	↓	-0.1
	15	あなたは、豊かな心の育成を意識して道徳教育及び評価を行っている。	3.4	A	3.2	A	↑	0.2
	16	あなたは、生徒の学習習慣が確立するよう努めている。	3.3	A	3.4	A	↓	-0.2
	17	本校は、生徒の個性を尊重しながら、生き方を考えさせる教育活動（進路指導やキャリア教育等）を行っている。	3.6	A	3.4	A	↑	0.2
V 生徒指導	18	あなたは、生徒理解のために生徒とのコミュニケーションに努め、誠意をもって接している。	3.9	A	3.7	A	↑	0.2
	19	あなたは、生徒の努力や良い点を認め、励ますようにしている。	3.8	A	3.7	A	↑	0.1
	20	あなたは、生徒理解・生徒指導・特別支援等の観点に立ち、個に応じた指導に努めている。	3.6	A	3.5	A	↑	0.1
	21	あなたは、いじめや問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に努めている。	3.7	A	3.6	A	↑	0.1
	22	あなたは、適切な部活動指導に努めている。	3.5	A	3.2	A	↑	0.3
VI 家庭・地 域との 連携	23	本校は、学校や学級等の様子などを、各種たよりやホームページなどを通じてわかりやすく伝えている。	3.6	A	3.6	A	-	0.0
	24	あなたは（本校は）、保護者や地域との連携・協力を努めている。	3.5	A	3.7	A	↓	-0.2
	25	あなたは、信頼される学校になるよう努めている。	3.6	A	3.7	A	↓	-0.1
VII 学校の 特色	26	朝読書は、生徒にとって良い成果を上げている。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
	27	生徒は、学校や地域で進んであいさつをしている。	2.9	B	3.2	A	↓	-0.3
	28	生徒は、部活動や学校行事等様々な活動に積極的に参加している。	3.4	A	3.5	A	↓	-0.1

# 【資料1-3】

令和5年度 自己評価 意見 令和5年12月白根御勅使中学校

項目 番号	意 見
1.2.3	○小中一貫教育がスタートし様々な行事で連携することが出来ていると思う。今後もより一層小学校との連携を深めていけたらと思う。
2	○No2みだいスタンダードはなにがどのくらいできていけばいいのかよく分からない。 特に中学校は教室に貼ってある「学びの作法」も含めて、アップデートするためにしっかり話し合う時間をとった方がよいと思う。無言清掃はできないのかやるきがないのか分からないが、みだいスタンダードのなかにいれておくのはやめたい。 ○simple Programに取り組みませんでした ○小中一貫教育については家庭科の授業でももっと意識して進めていかなければならないと感じました。
18.19. 20.21	○生徒に対して、毎回同じ姿勢や態度で接することは、出来るだけ生徒の立場に立ち親身に話を聞けるように意識しているため、自分自身のメンタルケアも必要であると思う。
27	○例年のことですが、自らあいさつができる生徒が少ないと感じています。生徒会での取り組みなどもうまく活用しながら、自らあいさつができるような学校を目指していけたらと思います。 ○生徒が自ら挨拶ができるところまで至っていない。教師側から挨拶をしても、返すことができない生徒も多い。 ○あいさつについては、本校生徒の課題の一つだと感じています。地域の方から、気持ちの良いあいさつをしてくれたとお褒めのお電話をいただいたこともありますが、一部の生徒だけでなく、全生徒が自ら進んで、さわやかなあいさつができなければ、達成できているとはいえません。今後、生徒会活動などを通して、積極的にあいさつできる生徒を育てていきたいと思っています。
28	○生徒や家庭に「学校より家庭生活を大切に」傾向がでてきており、優先順位が各家庭によって差があるように思う。それが悪いとは言いませんが、熱量の差でしょうか。 ○（「3」にしましたが、）コロナによる活動縮小の影響なのか、諸活動に対して、真面目に取り組んでいる様子は見られますが、生徒が自ら考えて自主的に取り組んでいるかと言われると、その力は弱くなっているような感じがします。学年や生徒会活動等を通して、仕組んでいければと感じます。 ○行事や部活動など、日常的な学校生活ではない部分で、本校の生徒は努力し個や集団の力を発揮している。しかし、子どもたちが力を発揮する行事や部活をさらに削減しようとする流れが本校にはある。多忙化や働き方改革などが理由だが、どうしても後ろ向きな行事精選になっている気がする。もちろんバランスも大切だが、行事や部活動を減らしていくならば、学習面や日常の行動などをもっと徹底的に取り組むべきだと感じた。

## 【資料2-1】

## 令和5年度 生徒アンケート集計結果 令和5年12月 白根御勅使中学校

4:あてはまる 3:どちらかというあてはまる 2:どちらかというあてはまらない 1:あてはまらない		合計人数				平均値	判定	学年平均値		
No	評価項目	4	3	2	1			1年	2年	3年
1	私は、学校が楽しいと思う。	94	72	14	4	3.4	A	3.4	3.3	3.5
2	私は、授業に真面目に取り組んでいる。	70	93	15	6	3.2	A	3.2	3.1	3.4
3	私は、授業の内容がわかっている。	53	98	28	4	3.1	A	3.1	3.1	3.1
4	私は、勉強することは大切だと思う。	114	56	12	2	3.5	A	3.5	3.5	3.6
5	私は、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっている。	52	72	40	19	2.9	B	2.8	2.7	3.1
6	私は、卒業後の進路や将来の仕事のことを考えたりする。	67	61	39	17	3.0	A	2.8	2.8	3.3
7	私は、あいさつを大切にしている。	111	61	10	2	3.5	A	3.4	3.5	3.7
8	私は、場と相手に応じた言葉づかいをしている。	92	74	14	2	3.4	A	3.3	3.4	3.5
9	私は、学校（生徒会・学年等）で確認したルールを守っている。	88	84	10	2	3.4	A	3.3	3.4	3.5
10	私は、命の大切さを理解し、交通ルールを守っている。	131	51	2	0	3.7	A	3.6	3.7	3.8
11	私は、仲間を大切にし、いじめや仲間はすれをしない。	147	37	0	0	3.8	A	3.8	3.7	3.9
12	私は、清掃・給食当番・委員会活動・係活動・作業などに、真面目に取り組んでいる。	101	75	7	1	3.5	A	3.4	3.6	3.5
13	私は、部活動や習い事に真面目に取り組んでいる（いた）。	128	45	6	4	3.6	A	3.7	3.6	3.6
14	私には、良いところが（も）あると思う。	61	78	36	9	3.0	A	3.0	2.8	3.3
15	私は、家の人と話をする。	127	39	14	4	3.6	A	3.6	3.4	3.8
16	先生は、わかりやすい授業をしている。	108	63	12	1	3.5	A	3.6	3.4	3.5
17	先生は、自分の良さや頑張ったことを認めてくれる。	82	84	12	4	3.3	A	3.3	3.4	3.4
18	先生は、心配ごとなどの相談にのってくれる。	79	69	27	9	3.2	A	3.0	3.3	3.3
19	学校には、教育活動に適した施設設備が整っている。	118	56	9	0	3.6	A	3.5	3.6	3.7

## 【資料2-2】

## 令和5年度 生徒アンケート集計比較

令和5年12月 白根御勅使中学校

4:あてはまる 3:どちらかというにあてはまる 2:どちらかというにあてはまらない 1:あてはまらない		令和5年度		令和4年度 後期		比較	
No	評価項目	平均	判定	平均	判定	アップ ダウン	差
1	私は、学校が楽しいと思う。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
2	私は、授業に真面目に取り組んでいる。	3.2	A	3.4	A	↓	-0.2
3	私は、授業の内容がわかっている。	3.1	A	3.2	A	↓	-0.1
4	私は、勉強することは大切だと思う。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
5	私は、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっている。	2.9	B	3.1	A	↓	-0.2
6	私は、卒業後の進路や将来の仕事を考えたりする。	3.0	A	3.1	A	↓	-0.1
7	私は、あいさつを大切にしている。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
8	私は、場と相手に応じた言葉づかいをしている。	3.4	A	3.5	A	↓	-0.1
9	私は、学校（生徒会・学年等）で確認したルールを守っている。	3.4	A	3.5	A	↓	-0.1
10	私は、命の大切さを理解し、交通ルールを守っている。	3.7	A	3.7	A	-	0.0
11	私は、仲間を大切にし、いじめや仲間はずれをしない。	3.8	A	3.8	A	-	0.0
12	私は、清掃・給食当番・委員会活動・係活動・作業などに、真面目に取り組んでいる。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
13	私は、部活動や習い事に真面目に取り組んでいる（いた）。	3.6	A	3.7	A	↓	-0.1
14	私には、良いところが（も）あると思う。	3.0	A	3.1	A	↓	-0.1
15	私は、家の人と話をする。	3.6	A	3.7	A	↓	-0.1
16	先生は、わかりやすい授業をしている。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
17	先生は、自分の良さや頑張ったことを認めてくれる。	3.3	A	3.5	A	↓	-0.2
18	先生は、心配ごとなどの相談にのってくれる。	3.2	A	3.4	A	↓	-0.2
19	学校には、教育活動に適した施設設備が整っている。	3.6	A	3.7	A	↓	-0.1

## 【資料】2-3

令和5年度 生徒アンケート 意見 令和5年12月白根御勅使中学校

### 【1年生】

＜良いと思うところ＞

- ①思いやりがある。仲が良い。明るい。元気。
- ②校舎、施設がきれい。
- ③挑戦できる。全校で行事などに取り組むとき、みんなで協力して行ったり、集中して取り組んでいるところ。一人一人が御勅使中の生徒として自覚を持った行動をしているところがいいと思う。自分がすべきことをしっかりしているところ。・何事も最後までみんなでやり遂げるところ。団結力があるところ。行事などに一生懸命に取り組むところ。・集会の時とかに場を盛り上げてくれる人がいるところ。
- ④合唱が上手。
- ⑤挨拶がしっかりできる。
- ⑥授業中の態度が良いこと。
- ⑦きまりを守るところ。はじめと終わりに「ありがとうございました」といえるところ。メリハリをつけて、行動できるところ。時間を守れるところ。無言清掃がしっかりとできているところ。

＜直したほうが良いこと＞

- ①挨拶がもう少し大きくなるといいなと思う。・挨拶を少し直した方がいい。・先輩が挨拶を返してくれない時がある。
- ②集まるのは素早いけどその間の無駄口が多い。
- ③学校の基本的なルール、校則を守れていない人が、多くなってきているということです。校則、御勅使中のルールを再度、確認する必要があると思います。直したほうがいいところは、静かに行動すること。校則を厳守するようにもっと言うのがいいかなと思います。理屈がない校則をなくすこと。
- ④掃除のときにうるさいから静かにする

### 【2年生】

＜良いと思うところ＞

- ①優しい。明るく楽しい。元気がある学校でいい。
- ②一つの目標に向かって皆で頑張っているところ。協力的なところ。何事にも全力で取り組める何事にも一生懸命取り組めるところ。何かに取り組むときは一生懸命取り組んで、楽しむときは全力で楽しんでいるので良いと思うところ。
- ③挨拶がいいところだと思う。元気でさわやかな挨拶ができる。明るく挨拶ができているところ。みんな挨拶が習慣化されていて良いと思う。
- ④いじめが少ないところ。同じ学年の人だけではなく他の学年の人との関わりが多い所が良いと思った。他の学校の中学生とも仲良くできている。全校を巻き込むような問題を起こさないところ。
- ⑤校舎が綺麗なところ。窓が大きくていいと思う。窓が多く学校が明るい。
- ⑥みんなが仲良く勉強したりしている所が良いところ。
- ⑦先生が生徒と向き合えること。とても面白い先生方が多いところ。

＜直したほうが良いこと＞

- ①できてる人はできているけど、一部の人で無言清掃ができていない人がいる。無言清掃を頑張ったほうがいいと思う。清掃中に喋るのを直したほうがいいと思った。
- ②メリハリをつけることはもう少し意識したほうがいいと思いました。ふざけすぎてしまうことがある。周りの空気が読めない方がいるのでそこは直していったほうがいいと思う。集会のときに静かにするのに時間がかかってしまったりする。より一人ひとりが授業と行事とでしっかりとメリハリを付けて行動できると良いと思う。その場その場によって雰囲気を変えたほうが良いと思う。
- ③あいさつがもう少し増えるともっと良くなるんじゃないか。挨拶に力を入れた方がいいと思います。近くの住民の方への挨拶をもっとしたほうがいいと思う。
- ④廊下で騒がないでほしい。・廊下をはしらない。
- ⑤課題多い。授業態度を各クラス、学年で意識できたらいいと思う。

【3年生】

＜良いと思われるところ＞

①学年の違う人と仲がいいところ。イジメの話を聞かないところ。いつも元気な学校で良い。喧嘩が少ないのと、先輩と後輩の仲が良いこと。自分の収めた成績をたたえてくれること、人柄がいい人がたくさんいることが良い。生徒達が積極的に学級行事に参加、協力できる所が良い。雰囲気が良い。桃源祭などの行事がたくさんあること。

②校舎が全体的に綺麗。きれいしっかり掃除をしていて校内がきれい。トイレがきれい。

③挨拶ができています。挨拶が良い。授業の挨拶が大きいところがいい。

④一部先生方の手厚いサポート。楽しめて取り組める学習環境がある。

＜直したほうが良いところ＞

①校則古い。校則を守ったほうがいいと思った。校則を見直してほしい。アウターを許可してほしい。暖房のつけていい温度をもっと高くしてほしいと思う。部活に入らない選択肢を作って欲しい。制服時の校則が守れていない人がいる。(靴下の長さなど)

②階段が辛い。

③メリハリを付ける。協調性がないところ。礼儀が悪いところ。切り替えが遅い。自分の仕事は自分でやり遂げることを頑張ったら良いと思う。

④明るい明るくみんなの仲が良いと思う。

⑤担任の趣味で教室が占領されること。誰かわからないサッカー選手たちが壁に貼られていること。

【資料3-1】

令和5年度 保護者アンケート集計結果

令和5年12月白根御勅使中学校

No	評価項目	合計				平均値	判定	学年平均値		
		4	3	2	1			1年	2年	3年
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいますか。	77	63	11	5	3.4	A	3.3	3.2	3.6
2	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいますか。	50	59	38	10	2.9	B	2.9	2.8	3.2
3	お子さんは、授業の内容がわかっていますか。	31	82	37	7	2.9	B	2.8	2.8	3.0
4	お子さんの成長を感じますか。	84	63	9	1	3.5	A	3.4	3.4	3.7
5	お子さんは、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっていますか。	45	55	39	18	2.8	B	2.8	2.8	2.9
6	お子さんと、卒業後の進路や将来の仕事を話しますか。	42	74	33	8	3.0	A	2.8	2.8	3.4
7	お子さんは、学校や地域で進んであいさつをしていますか。	64	64	24	5	3.2	A	2.9	3.2	3.4
8	お子さんは、適切な言葉遣いで、友人や先生と会話していますか。	35	105	16	0	3.1	A	3.0	3.1	3.3
9	お子さんは、学校（生徒会・学年等）で確認したルールを守っていますか。	73	73	9	1	3.4	A	3.4	3.3	3.5
10	お子さんは、命の大切さ理解し、交通ルールを守っていますか。	97	58	2	0	3.6	A	3.5	3.6	3.7
11	お子さんは、仲間を大切にし、いじめや仲間はずれをしないですか。	110	42	5	0	3.7	A	3.6	3.7	3.7
12	お子さんは、部活動や習い事に真面目に取り組んでいますか。	95	48	9	5	3.5	A	3.5	3.4	3.5
13	お子さんには、良いところがあると思いますか。	128	28	1	0	3.8	A	3.8	3.8	3.8
14	お子さんは、家では家族とよく話しますか。	86	59	12	0	3.5	A	3.5	3.4	3.5
15	先生は（学校は）、わかりやすい授業をしていますか。	50	94	10	1	3.2	A	3.2	3.2	3.3
16	先生は（学校は）、お子さんの良さや頑張ったことを認めてくれますか。	78	65	9	2	3.4	A	3.3	3.5	3.4
17	先生は（学校は）、心配ごとなどの相談にのってくれますか。	73	68	12	1	3.4	A	3.3	3.5	3.4
18	学校には、教育活動に適した施設・設備は整っていますか。	74	76	5	1	3.4	A	3.5	3.4	3.5
19	学校は、たより・メール・ホームページ等で学校の様子を伝えていますか。	84	67	6	0	3.5	A	3.5	3.5	3.6
20	学校は、子どもの安全に配慮し、安全管理及び安全指導に努めていますか。	77	75	2	0	3.5	A	3.4	3.5	3.5

## 【資料3-2】

### 令和5年度 保護者アンケート集計比較

令和5年12月 白根御勅使中学校

		4: あてはまる 3: どちらかというにあてはまる 2: どちらかというにあてはまらない 1: あてはまらない				比較	
No	評 価 項 目	R5		R4		アップ ダウン	差
		平均値	判定	平均値	判定		
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいますか。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
2	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいますか。	2.9	B	3.0	A	↓	-0.1
3	お子さんは、授業の内容がわかっていますか。	2.9	B	2.9	B	-	0.0
4	お子さんの成長を感じますか。	3.5	A	3.5	A	-	0.0
5	お子さんは、家庭学習（塾なども含む）が習慣になっていますか。	2.8	B	3.0	A	↓	-0.2
6	お子さんと、卒業後の進路や将来の仕事を話しますか。	3.0	A	3.1	A	↓	-0.1
7	お子さんは、学校や地域で進んであいさつをしていますか。	3.2	A	3.2	A	-	0.0
8	お子さんは、適切な言葉遣いで、友人や先生と会話していますか。	3.1	A	3.1	A	-	0.0
9	お子さんは、学校（生徒会・学年等）で確認したルールを守っていますか。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
10	お子さんは、命の大切さ理解し、交通ルールを守っていますか。	3.6	A	3.6	A	-	0.0
11	お子さんは、仲間を大切に、いじめや仲間はずれをしないですか。	3.7	A	3.7	A	-	0.0
12	お子さんは、部活動や習い事に真面目に取り組んでいますか。	3.5	A	3.5	A	-	0.0
13	お子さんには、良いところがあると思いますか。	3.8	A	3.8	A	-	0.0
14	お子さんは、家では家族とよく話しますか。	3.5	A	3.5	A	-	0.0
15	先生は（学校は）、わかりやすい授業をしていますか。	3.2	A	3.2	A	-	0.0
16	先生は（学校は）、お子さんの良さを頑張ったことを認めてくれますか。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
17	先生は（学校は）、心配ごとなどの相談にのってくれますか。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
18	学校には、教育活動に適した施設・設備は整っていますか。	3.4	A	3.5	A	↓	-0.1
19	学校は、たより・メール・ホームページ等で学校の様子を伝えていきますか。	3.5	A	3.5	A	-	0.0
20	学校は、子どもの安全に配慮し、安全管理及び安全指導に努めていますか。	3.5	A	3.5	A	-	0.0

## 【資料3-3】

## 令和5年度 保護者アンケート 意見

令和5年12月 白根御勅使中学校

## 1年

いつもご指導ありがとうございます。学級活動や部活動を通して日々子供の成長を感じています。学校行事や縦割り行事等 いろいろ工夫いただきありがとうございます。

校則は時代に合わせた変更があってもいいように感じます。

自転車通学者の交通安全についてですが、一部ヘルメットを着用せずに登下校している生徒がいるようです。自分自身の安全のためにしっかりと指導していただきたいです。安全面もちろんですが、規則を守るという面も学校生活の大切なことだと思います。守っている生徒が残念な気持ちにならないように指導や見守り、必要な違反罰則などをしていただきたいと思います。

また、自転車のスピードの出しすぎや徒歩生徒の道路の歩きかた、交差点での一時停止も合わせて再度ご指導いただきたいです。家庭でも指導していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

制服や校則の見直しが必要なのではないかと思います。

全般的には先生方がよくやってくださり、ありがたく、感謝しています。先生方のお陰で、校訓通り一生懸命取り組める子供達が育ってきていると思います。以下は要望としての意見です。

感染症の校内での流行状況を保護者にもきちんと報告してほしい。

通知の内容が分かりにくいときがあるため一般人にも分かりやすい内容での記載をお願いしたい。

一斉メールの記載内容に間違いが多いため、きちんと確認してから送信してほしい。保護者が問い合わせる手段は電話しかないため、内容確認が必要になると手間取るから。

毎日本当にお世話になっております。本人に合わせて対応して下さりありがとうございます。

いつも楽しく学校に通えている事を嬉しく思っています。今後とも、宜しくお願い致します。

個別懇談などで学校の様子が聞けたり、おたよりなどでクラスや全体の様子は知れますが、個々の様子があまりわからず、ちゃんとやれてるのか心配になる時があります。

小学校とは違うという事に親がまだ慣れていない部分もありますが、親が何か相談したい時に、いつでもやって連絡したらいいのか困る時があります。

子供達と先生の距離が近く、学校の雰囲気がとても良くて安心します。

## 2年

2学期も大変お世話になりました。先生方には感謝の気持ちで一杯です。

学校行事をはじめ先生方には一生懸命して頂きとても感謝しております。いつも子供達の演物は感動して涙がでます。ありがとうございます。

先生に良い印象がありません。

日常生活をはじめ、学校行事や部活動等すべてにおいて熱心にご指導いただき感謝しております。充実した学校生活を送ることができ、毎日学校が超楽しいと言っています。

いつもお世話になっております。娘は、仲間と共に学校生活を過ごす中で成長を感じます。

学習面では、先生から授業で勉強を教えてもらうばかりでなく、話し合いや体験から自ら学んでいく取り組みや、自らの考えを伝える機会をさらに作ってもらえると良いなと思います。

いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

タブレットの活用時消すのが早かったり、わかりにくさを感じる。紙媒体の方が集中できる時があるようです。

いつもお世話になっております。中学生になって2年になりますが、子供の成長を、とても感じます。先生方は、心配なことがあると相談にのってくださるので、安心して学校に通うことができます。これからも、よろしくお願いいたします。毎日、ありがとうございます。

子供が学校生活を楽しく過ごせているので、みだい中は良い環境なのだと思います。

先生方が子供たちのことをよく見て下さり、理解してくれてると思います。

体調面からなかなか学校に通うことが出来なくなりましたが、担任の先生、学校側から考慮して頂き、夕方がほとんどですが、少しでも学校に行くということが出来、娘に合わせた対応をして下さっていることに感謝しています。これから少しずつ学校生活に戻っていけたらと思います。本当にありがとうございます。

### 3年

学校での出来事を楽しそうに報告してくれます。先生方も、子どもの性格をよく理解してくれ個々にあったアドバイス等をしてくださるのでとても助かります。残り少ない中学生生活を、悔いの残らぬよう過ごして欲しいです。

少人数なのでアットホームな感じで先生と生徒の関わりをもつ機会も多い。子供に寄り添ってくれる先生方が多いところも良いところだと思う。

先生方が、いつも一人ひとりの生徒の将来を気にかけてくださり、人として、誠実に生きていくことをご指導してくださっていることが、息子を通じて、わかります。家族で社会のルールを学ばせていただいております。ありがとうございます。

大変お世話になっております。吹奏楽コンクールに校長先生が激励に来てくださいました。演奏し終えた子ども達に温かい言葉をかけてくださっていて、頑張りを認めてもらえてどんなに今後の自信につながったことかと、ありがたく感じました。

また、担任の先生や諸先生方の細やかな見守りと熱心なご指導に日々感謝しております。ありがとうございます。

先生方には親身になり相談にのっていただいたり、様子をよくみていただいていると感謝しています。要望としましては、懇談日などのお便りがもう少し早く決定して通知していただけると助かるなと思います。

また、校則があると思いますが、自転車通学者や、服装などの決まりを守るといことも学校生活の中で大切なことだと思います。守っている生徒が残念な気持ちにならないようにご指導お願いします。時には規則違反の指導も必要だと思います。

今後ともよろしくお願いします

3年間ご指導していただきありがとうございました。本人なりに充実した中学校生活を送ることができました。

お便りやアンケート、欠席連絡など安心メールやフォームを活用してくださり、保護者としても大変ありがたいです。